

恋人の聖地♡プレート披露



「恋人の聖地」記念プレートの除幕をする関係者—江津市有福温泉町、有福温泉

江津・有福温泉に設置

万葉歌人・柿本人麻呂と石見国の妻・依羅娘子の口マンズが語り継がれる江津

市が、島根県内唯一の「恋人の聖地」に選ばれたことを受け29日、同市有福温泉町の温泉街に記念プレートが設置された。関係者は「カップルが訪れ、縁を深める場になれば」と期待している。

記念プレートは縦28センチ、横40センチで有福温泉の「御前湯」前の手すりに設置。聖地選定の申請をした官民の商工関係者でつくる江津ブランド開発研究会の植田智之会長(45)らが除幕し早速、訪れた観光客らがプレート前で記念撮影をした。

同温泉旅館組合の伊田光雄組合長(49)は「聖地選定を契機に、カップルの観光客を呼び込みたい。出雲は縁結びで知られるが、石見では縁を深めてほしい」と話した。

「恋人の聖地」は、人麻呂と依羅娘子が愛を育んだとされる同市周辺を売り出すと、同研究会が6月、静岡市のNPO法人がロマンチックなスポットとして全国100カ所以上にお墨付きを与えているプロジェクトに申請し、7月に選定を受けた。